

整形外科領域において全身麻酔下で手術された患者さんの情報の研究利用についてのお知らせ

この度国立病院機構東京医療センター薬剤部では、「整形外科領域における周術期薬剤管理加算業務開始前後の周術期抗菌薬適正使用の割合及び手術部位感染発生率の比較」を行うことになりました。

この研究の目的は、整形外科領域において全身麻酔下で手術された患者さんの周術期抗菌薬の使用について調べて、薬剤師の介入がどのような影響を及ぼしているか明らかにすることです。

この研究のため、2021年10月1日より2022年9月30日までに整形外科で治療した患者の診療録、検査データの調査を行います。対象となるのは全身麻酔下で手術された方で、調査項目は個人情報を含まない医学的な情報（腎機能や体重、抗菌薬の投与量、手術部位感染発生の有無など）のみです。患者さんのお名前、住所などのプライバシーに関する情報が外部に漏れることは一切ありませんのでご安心下さい。

調査したデータは、本研究の責任者のもとで厳重に管理されます。今回の研究で得られた結果に関しては、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告されることがあります。

ご自身のデータを研究に利用することを承諾されない方は下記にご連絡下さい。その場合も、診療上何ら不利な扱いを受けることはありません。

この件に関しましてご質問等がございましたらご遠慮なくお尋ね下さい。

2023年3月

研究責任者

東京医療センター薬剤部 筒浦萌子

連絡先 03-3411-0111（代表）